



高校生らが防医大を研修 ～講話や実習で理解を促進～

自衛隊東京地方協力本部城東地区隊（隊長 濱田2陸佐）は12月22日、将来医師を志している高校生やその保護者、高校教諭等を対象として防衛医科大学校（以下「防医大」）の研修を実施した。

この研修は、一般大学と同様の医学教育に加え将来幹部自衛官となるための基礎的な教育訓練や防衛医学を学ぶ防医大に対する理解を深めてもらうため企画したものであり、参加者は、当初、防医大内の防衛医学研究センターに加え、防医大による「感染症の危機管理」と題した講話、防医大病院の秋富准教授からは准教授自身が医療活動に従事したJR福知山線脱線事故や東日本大震災における現場の実態等について説明を受けた。講話後は、2名の講師に加え医学科の学生生活を交えた会食が実施され、参加者は普段の学生生活や学校行事等について教授や学生たちへ積極的に質問していた。

午後からは、防医大病院で勤務する医官から防医大への入校から現在に至るまでの体験紹介、外科手術の縫合実技体験、防医大の研究施設である衝撃波発生装置を見学し、参加者は、「非常に貴重な体験ができた」「研修の終了を通じてすべてが興味深い内容であり、このような質の高いオープンキャンパスへの参加は初めてだった」等の感想が聞かれた。

東京地本城東地区隊では今後も関係機関との連携を図り、防衛省・自衛隊に関する広報活動を積極的に実施していくとしている。



成人の日に市街地広報

自衛隊東京地方協力本部豊島地域事務所（所長 森田3陸尉）は1月13日、豊島園駅前広場において市街地広報を実施した。

当日は、練馬区のレジャー施設「としまえん」において、「練馬区成人の日のこと」が開催されたため、会場最寄りの豊島園駅を利用する新成人やその家族等に、2～3月の自衛官候補生試験日程を掲載したチラシを配布した。

広報官の声掛けに足を止めた自衛隊幹部候補生の受験を希望する新成人や子供を自衛隊に入りたいと言う保護者等は、採用試験の詳細について真剣に耳を傾け、多くの人が自衛隊イベント等に関心を示していた。

成人のつどいに制服姿で参加した防衛大学校の2年生は、広報官を見つけると「広報活動頑張ってください」と挨拶し、現地で本部長から祝福の言葉を掛けられる場面もあった。

練馬地域事務所では今後も防衛省・自衛隊の活動について理解を深めてもらうため、地域に密着した広報活動を実施し、募集業務に繋げていくとしている。



募集相談員と共に成人をお祝い

自衛隊東京地方協力本部五反田募集案内所（所長 小澤1陸尉）は1月13日、品川区の大井町駅前において自衛隊東京地方協力本部募集相談員連絡協議会品川支部の会員（以下「募集相談員」）と共に、市街地広報を実施した。

当日は、隣接する「きゅりあん」（品川区立総合区民会館）で「品川区成人の日の集い」が開催されたため、五反田募集案内所の広報官と募集相談員らは往來する多数の新成人やその家族等にお祝いの言葉をかけながら2月に実施する自衛官候補生採用試験の日程や職業説明会の案内を差し込んだポケットティッシュを手渡した。

五反田募集案内所の活動に協力した10名の募集相談員らは、新たに作成したお揃いの帽子を参加者全員が着用し、新成人等に積極的に声を掛け、例年を上回る数のチラシを配布し、新成人の保護者から「ご苦労様です。頑張ってください」等、慰労の言葉をかけられる場面もあった。

五反田募集案内所では、今後も募集相談員等関係協力団体と良好な関係を維持しつつ、防衛省・自衛隊の活動について理解を深めてもらうため地域に密着した広報活動を実施して募集業務につなげていくとしている。

